

## 住民の長年の悲願 三河と知多を結ぶ「夢のかけ橋」



▲当時の写真を見て思い出を語る岩月さん夫妻

### 衣浦大橋

# “撮っておき” の たかはま

## 【第12回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

高浜市と衣浦湾を挟んで対岸の半田市亀崎との間は、至近距離にも関わらず、かつては渡し舟を使うか刈谷市方面から陸路で迂回するしかなく、橋をかけることが沿岸住民の長年の夢であった。その念願がかない、昭和27年から約4年がかりで、総工費約4億4千万円をかけて「衣浦大橋」が誕生した。全長650.5m、幅員6m、2車線で、海上をわたる橋としては当時全国一の長さを誇っていたことから「夢のかけ橋」と称された。海底が軟弱な泥層のために、大変難しい工事であったという。

昭和31年1月27日、開通記念の渡り初めが盛大に行われた。岩月晃さん・寛子さん夫妻(沢渡町)は「結婚して間もない私たちは、親夫婦、祖父母夫婦と三世代で外国製のオープンカーに乗り、パレードを先導。夢のかけ橋を一目見ようと、あふれんばかりの人でした。私の記憶では空には取材の飛行機も多数飛んでおり、高浜があればほどにぎやかだったことは、かつてないのではないのでしょうか。」と語る。

開通当時の通行料金は、トラック250円、乗用車200円、小型車150円、自転車10円などであったが、昭和43年4月から無料通行となった。無料化後は年々利用台数が増加したことから、2本目の「新橋」の工事が昭和47年より始まった。総工費約18億2千万円をかけ、昭和53年2月に開通し、現在に至っている。海上をわたる橋は、今や三河と知多の往来になくはならないものとなっている。

# LELA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください!

# 広報 たかはま

編集・発行／高浜市役所総合政策グループ  
〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2  
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110  
<http://www.city.takahama.lg.jp/>  
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。